

# 第35回丹沢ポッカ駅伝競争大会 実施報告書

実施日：令和5年6月4日

場 所：秦野市 大倉登山道（大倉尾根～花立山荘）

主 催：丹沢ポッカ駅伝競争大会実行委員会



令和5年6月4日、出場47チームにて、第35回丹沢ポッカ駅伝競争大会を成功裡に閉幕させることができました。この間、コロナ禍のよる3年間の中止を乗り越えての開催となりました。開催にあたり、秦野市をはじめ関係諸機関、地元自治会のご支援、また山小屋関係者や多くのボランティアの皆様のご協力を賜りましたことに、深く感謝いたすとともに、謹んでお礼を申し上げます。

第35回大会の実施内容につきまして、以下の通り報告をさせていただきますので、ご高覧のほど、よろしくお願い申し上げます。



件名	第35回丹沢ボッカ駅伝競争大会												
実施日	令和5年6月4日〔日〕												
主催	丹沢ボッカ駅伝競争大会実行委員会												
後援	神奈川県、秦野市、秦野丹沢まつり実行委員会、公財)神奈川県公園協会、公財)神奈川県公園協会秦野戸川公園、公社)神奈川県観光協会、公財)秦野市スポーツ協会、(一社)秦野市観光協会、丹沢山小屋組合、日本赤十字社神奈川県支部												
開催地	神奈川県秦野市												
競技会場	丹沢山塊 県立秦野戸川公園前～花立山荘間の大倉尾根登山道												
規模	参加者 344名(内訳:選手188名、選手応援50、役員106、その他観衆等含まず)												
選手状況	チーム出場 47チーム(188名)												
開会式	競技開始に先立って、吉田大会会長の開会挨拶、高橋昌和秦野市長の来賓挨拶のあと、招待者の紹介があって、開会式を開催した。												
大会概要	<p>「県立秦野戸川公園」前をスタートし、大倉尾根～花立山荘までの登山コースを4区間に分け「1チーム4人」で、その合計タイムを競った。競技は表-1の通りの2クラスとした。</p> <p style="text-align: center;">表-1 出場チーム数の状況</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">クラス名</th> <th>チーム数</th> <th colspan="2">クラス名</th> <th>チーム数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>20 kg 一般</td> <td>38</td> <td>C</td> <td>10 kg 女子</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	クラス名		チーム数	クラス名		チーム数	B	20 kg 一般	38	C	10 kg 女子	9
クラス名		チーム数	クラス名		チーム数								
B	20 kg 一般	38	C	10 kg 女子	9								
運営状況	秦野市等の山岳関係者や市民等の有志、そして山小屋関係者の協力を得て、全てボランティアにより運営された。												
交通安全	県道706号の神奈中大倉バス停から大倉登山口の公道区間については、道路使用許可第961号(令和5年5月1日付け)を取得し、本部役員により交通安全配備を行った。												
救護状況	大倉本部には医師による健康相談コーナー設置するとともに、中継点やコース上の救護に神奈川県山岳赤十字奉仕団の協力をえた。万一の場合を想定してAED(自動体外式除細動器)を配備(内1台は秦野消防署から借用)して、救護体制を敷いた。												
大会結果	<p>競技終了後、表-2の表彰を行った。大会成績の詳細については添付資料を参照ください。</p> <p style="text-align: center;">表-2 大会上位の状況</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>第一位</th> <th>第二位</th> <th>第三位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クラスB</td> <td>SC丹沢秦野A</td> <td>武山自衛隊RC</td> <td>チーム晴れ男たち</td> </tr> <tr> <td>クラスC</td> <td>江戸くノ一組 其の壱</td> <td>かよわい山女たち</td> <td>南蛮連合</td> </tr> </tbody> </table>	区分	第一位	第二位	第三位	クラスB	SC丹沢秦野A	武山自衛隊RC	チーム晴れ男たち	クラスC	江戸くノ一組 其の壱	かよわい山女たち	南蛮連合
区分	第一位	第二位	第三位										
クラスB	SC丹沢秦野A	武山自衛隊RC	チーム晴れ男たち										
クラスC	江戸くノ一組 其の壱	かよわい山女たち	南蛮連合										

添付資料	<p>次ページをご覧ください</p> <p>1) 第35回丹沢ボッカ駅伝競争大会結果 全記録 A4×1頁</p> <p>2) 登山道整備活動実施報告書(6月17日実施) A4×1頁</p>
------	--

クラス	No.	チーム名	クラス順位	タイム (hr:min:sec)
B	22	SC丹沢秦野A	1	1:12:22
B	37	武山自衛隊RC	2	1:14:16
B	14	チーム晴れ男たち	3	1:17:45
B	34	SC丹沢秦野B	4	1:19:25
B	30	ハンサム団	5	1:20:50
B	4	怪足アーバン	6	1:25:33
B	29	丹沢の麓で会いませう	7	1:26:09
B	3	エイドリあへん	8	1:27:44
B	13	チーム他力本願's	9	1:28:54
B	24	浜松うましか	10	1:31:29
B	33	ONO練	11	1:32:09
B	11	105あんどHS	12	1:34:08
B	18	商大ワンダラー	13	1:34:57
B	31	手打そば さか間	14	1:35:45
B	5	横浜選抜A	15	1:36:16
B	16	原パン連合会A	16	1:36:32
B	27	チーム110	17	1:37:44
B	1	チーム・ヒムロB	18	1:40:19
B	28	根岸森林公園	19	1:40:35
B	8	海の運び屋B	20	1:40:21
B	20	カンミナーレ	21	1:42:07
B	10	金盃	22	1:42:47
B	35	KGMC OB会	23	1:43:36
B	9	Grazie	24	1:44:43
B	26	エイドリあーん2	25	1:44:44
B	38	野鳥の会	26	1:45:10
B	39	DAC	27	1:45:39
B	21	SDN	28	1:53:18
B	32	船橋しろくま	29	1:54:14
B	6	海の運び屋A	30	1:56:48
B	15	山親爺	31	1:58:29
B	19	神田南口登山部	32	2:00:38
B	25	チーム216	33	2:02:30
B	23	うまビー会渋沢	34	2:02:47
B	7	セミバラ友の会	35	2:05:04
B	12	坂本龍一最高です	36	2:10:18
B	17	横浜市役所山岳部	参考記録	1:26:03
B	36	Waka30	参考記録	2:23:54
B	2	チーム・ヒムロA	棄権	
C	202	江戸くノ一組 其の壱	1	1:16:26
C	201	かよわい山女たち	2	1:18:39
C	205	南蛮連合	3	1:24:46
C	204	ひとめぼれ	4	1:24:52
C	203	江戸くノ一組 其の弐	5	1:25:07
C	209	原パン連合会乙女チーム	6	1:25:13
C	207	CULTURE RC	7	1:27:08
C	206	江戸くノ一組 其の参	8	1:28:00
C	208	湯河原RRC	9	1:37:13



# 登山道整備活動実施報告書

丹沢ボッカ駅伝競争大会実行委員会

件名：	丹沢ボッカ駅伝競争大会実施後に伴う登山道の補修
実施日時：	2023年6月17日 10:00～11:30 (現地集合・現地解散)
実施場所：	丹沢大倉尾根登山道(花立山荘付近)
実施主体：	丹沢ボッカ駅伝競争大会実行委員会
参加者：	原パン連合会(小山)、SDN(藪田)、CULTURE RC(見城)、エイドリあーん(西原)
実行委員：	吉田、熊谷、竹内、中丸、日置、古谷、榎本、新堀 ※敬称略

## 報告：

第35回丹沢ボッカ駅伝競争大会は、2023年6月4日に47チームの参加により盛況のうちに閉幕した。この大会に付帯する行事として、登山道整備活動事業を実施したので報告します。

この丹沢ボッカ駅伝競争大会は、チーム(4人)によりタスキ替わりに砂利をボッカ(荷上げ)することで時間を競う大会です。35回大会および練習期間を含めると、約130袋(約2トン)の砂利が運びあげられました。練習用の砂利は各中継点(見晴茶屋、駒止茶屋、堀山の家)にも少量運びあげられていますが、殆どがゴールの花立山荘前に上げられています。(各中継点の砂利については中継点の山小屋の協力で有効利用される予定です。)

今回の実施では梅雨入り後でもあり、作業の実施は雨天も考えられましたが、幸いにも当日は晴天に恵まれ、実施することができました。大会参加チームの方々をはじめ実行委員の皆さんには感謝を申し上げます。主に20Kgの砂利袋を主体に登山道階段部分の土砂の流失が進んでいる部分や、路面の凹み部分を中心に砂利を投入しました。参加者の精力的な作業により予定した作業はほぼ完了しました。一部、今後の作業に必要な砂利は残置しました。



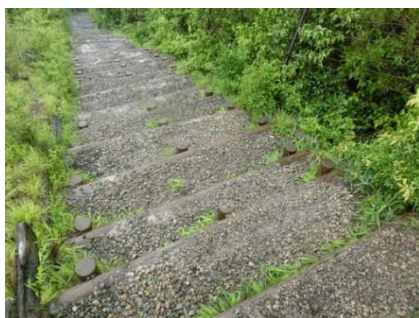
ゴールの砂利(一部)



砂利を運ぶ



階段の踏面に砂利を敷きこむ



仕上がった階段部分



仕上がった階段部分



参加者一同